

2009年5月11日
東京海上日動火災保険株式会社

－東京海上日動・創立130周年を記念して－

「高知県・協働の森づくり事業」における「パートナーズ協定」を締結

東京海上日動火災保険株式会社(社長 隅 修三)は、創立130周年を記念して、「環境先進企業との協働の森づくり事業」において、高知県、安芸市、高知東部森林組合と「パートナーズ協定」を締結することといたしました。

本事業は、環境先進企業と県内の市町村が協働して「森づくり」と「地域交流」を柱とした取り組みを行なうことにより、現在手入れの行き届かない状況となっている森林(人工林)の再生を進めることを目的としています。

当社は、「地球環境保護」を経営理念の一つに掲げ、保険事業に加え、環境啓発や社会貢献活動等を通じた地球環境保護の取り組みを進めています。

本締結を機に、地球環境保護の取り組みを、社員や代理店等が一体となって、より一層推進してまいります。

協定の締結式は、5月15日、高知県庁(本庁舎)にて行ないます。

1. 「高知県・協働の森づくり事業」について

高知県がコーディネーターとなり企業と市町村等が「パートナーズ協定」を締結します。企業は社会貢献の一環として市町村等に協賛金を支払い、市町村等はその資金で森林整備(間伐)を行い、環境整備を進める取り組みです。企業は協定を締結した市町村等の協力を得て間伐体験ツアーや地域との交流を行います。高知県は森林のCO2吸収量を計算し、企業に「CO2吸収証書」を発行します。

2. 「パートナーズ協定」の概要

- (1)協定森林の名称:「東京海上日動 未来への森」
- (2)協定森林の場所:安芸市島字登り畝57-5他7筆、安芸市島字黄檗山2771-1他9筆
- (3)協定森林の面積:44.4ha(総計)
- (4)協定期間:2009年5月15日～2014年5月14日

3. 当社の「地球環境保護」の取り組み

当社は「地球環境保護」を経営理念に掲げ、一昨年11月には「地球温暖化に関する総合プログラム」を策定し、事業活動に伴うCO₂の排出削減に向けた取り組みに加え、保険事業（商品・サービス）、環境啓発・社会貢献活動等を通じた取り組みを一層強化していくことを宣言しています。

環境啓発・社会貢献活動に係わる取り組みについては、以下を中心に実施しています。

- (1)1999年に旧東京海上の創立120周年を記念して、東南アジア5カ国（タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、ミャンマー）においてマングローブ植林事業を開始し、2004年からは植林地域にフィジーも加え、これまでの10年間に、5,000ヘクタールを超える植林を行ないました。
- (2)また、このマングローブ植林事業に関連して、2005年度からは、「みどりの授業～マングローブ物語」（地球環境教育プログラム）を国内全国で実施しています。社員や代理店が小学校等を訪問し、総合学習の時間に「地球温暖化防止」や「生態系保護」をテーマとして出張授業を行なっています。これまでに約200校で実施し、授業を受けた子どもたちは約15,000名、講師を務めた社員・代理店は約600名となっています。

以上